

関西医科大学に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の残余検体と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は（委員会名）倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 急性期虚血性脳卒中の再開通療法における施設間医療連携に関する調査研究  
《共同研究の代表機関名・研究代表者》

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科（部長）坂井信幸

《研究の目的》脳卒中の急性期診療体制における施設間連携体制構築のための研究班では、医療機関が連携して行った再開通療法の安全性を確認するため、治療を受けた患者さんのデータを調査しています。

《研究期間》 倫理審査委員会承認後から2020年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

脳梗塞の患者さんで、2016年1月1日から2019年12月31日に脳血管内治療で血栓回収術を受けた方。

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査）等

《外部への試料・情報の提供》

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

《研究組織》

神戸市立医療センター中央市民病院  
脳神経外科（部長）坂井信幸

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

当院における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者

関西医科大学附属病院

大阪府枚方市新町2-3-1

電話 072-804-0101 (代表)      FAX 072-804-0131

研究責任者：脳卒中センター長 浅井昭雄

研究内容の問い合わせ担当者：脳神経外科 (職名) 助教 (氏名) 岩田亮一